

受験番号

2023年度 大阪星光学院中学校 入学試験問題

算 数

(その1)

次の の中に正しい答えを入れなさい。ただし、円周率は 3.14 とします。

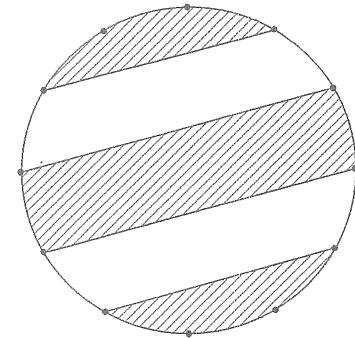
【1】 次の問い合わせに答えなさい。(2) ~ (5) は途中の計算などを【計算欄】や図に書いてもかまいません。

$$(1) \quad 3.5 \div 1\frac{5}{9} - \left\{ 21 \times \left(0.5 - \frac{1}{3} \right) - \boxed{} \right\} = 1.75$$

(2) 右の図のように、半径 12cm の円のまわりを 12 等分するところに印があります。

斜線部分の面積は cm² です。

【計算欄】(図に書いてもかまいません)



(3) 右の割り算で、A に入る 1 衝の数は で、

B に入る 5 衝の数は です。

$$\begin{array}{r}
 \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\
 \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\
 \hline
 \boxed{} & \boxed{} \\
 \boxed{} & \boxed{} \\
 \hline
 & 9 \\
 \boxed{} & \boxed{} \\
 \hline
 & 3 \\
 \boxed{} \\
 \hline
 & 1
 \end{array}$$

A → B →

(4) [1], [2], [12] の 3 枚のカードで 4 衝の数を作るとき、できる数は 通りあります。また、 [1], [2], [3], [4], [12] の 5 枚のカードから 3 枚また

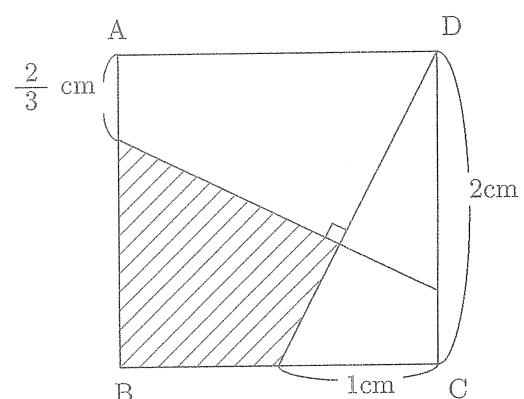
は 4 枚のカードを選んで、4 衝の数を作るとき、できる数は 通りあります。

ただし、たとえば [1] [2] [12] と [12] [1] [2] は同じ数と考えます。

【計算欄】

(5) 右の図のように、四角形 ABCD が正方形のとき、斜線部分の面積は cm² です。

【計算欄】(図に書いてもかまいません)



算 数

(その2)

【2】 右の図のように水道管がつながっており、上から水を入れます。2つに分かれるところでは半分ずつに分かれて水が流れます。水道管がこわれている場合、その水道管には水が流れず、こわれていない方に水がすべて流れます。ただし、分かれた水道管の両方がこわれていることはありません。

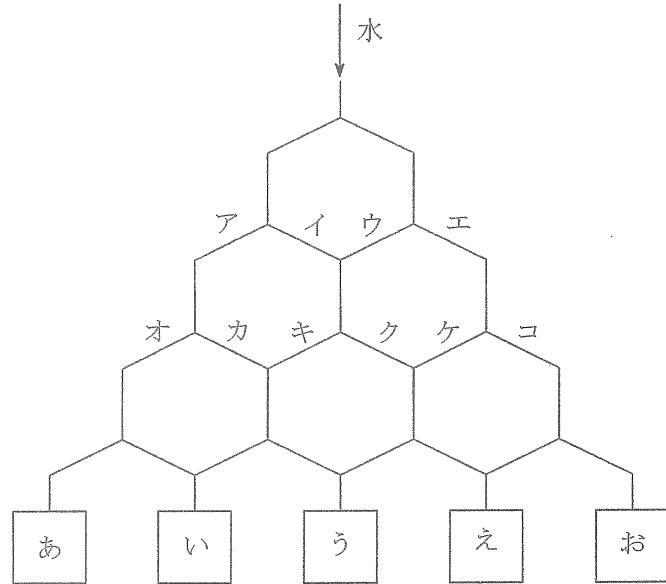
(1) こわれている水道管がないとき、上から水を 1ℓ 入れると、

から出る水の量は ℓ ,

から出る水の量は ℓ です。

(2) 水道管 クだけがこわれているとき、上から水を 1ℓ 入れると、

から出る水の量は ℓ です。



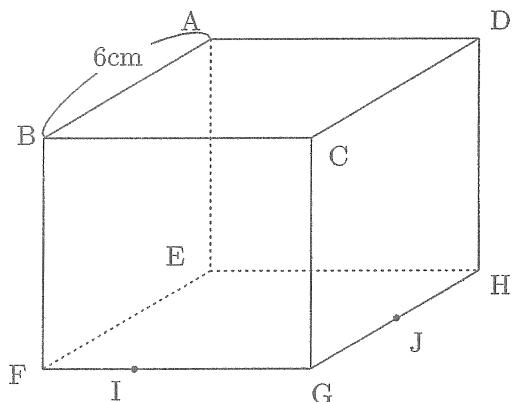
(3) 上から水を 1ℓ 入れると、 から $\frac{1}{8}\ell$, から $\frac{5}{16}\ell$, から $\frac{1}{4}\ell$,

から $\frac{3}{16}\ell$, から $\frac{1}{8}\ell$ の水が出てきました。このときこわれている水道管は と です。

【3】 右の図のような1辺 6cm の立方体 ABCD-EFGH があり、 $FI : IG = 1 : 2$, $GJ : JH = 1 : 1$ となる点 I, J をとり、3点 A, I, J を通る平面で立方体を切断します。

この平面と辺 BF との交点を K とすると、 $BK =$ cm です。

また、点 E が含まれる方の立体の体積の求め方と答えを書きなさい。



(求め方)

(答) cm^3

算 数

(その3)

【4】一定の速さで円周をまわる3つの点A, B, Cがあります。A, B, Cは円周上の点Pを9時ちょうどに、AとBは同じ向きに、CはA, Bと反対向きに出発しました。AとCは9時3分20秒に初めて出会い、その後すぐにAがもとの速さと同じ速さで反対向きに進んだところ、AとBは9時5分に初めて出会いました。また、Bは9時15分に点Pに初めてどりました。

(1) AとBの速さの比をもっとも簡単な比で表すと : です。

(2) AがCに初めて追いつく時刻は9時 分 秒です。

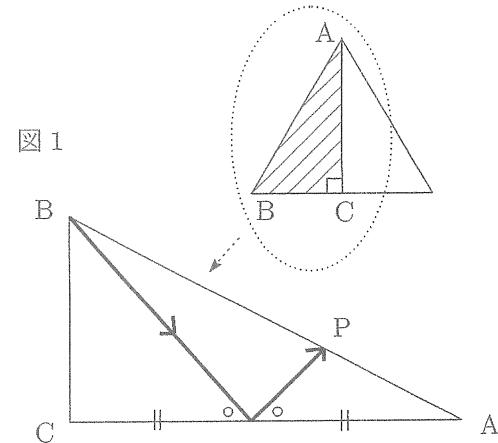
(3) 三角形ABCが1回目に二等辺三角形になる時刻は9時 分 秒で、

三角形ABCが3回目に二等辺三角形になる時刻は9時 分 秒です。

【5】右の図の三角形ABCは1辺の長さが10cmの正三角形を二等分したものです。

(1) 図1のように、Bから発射した玉が辺ACの真ん中ではね返って辺ABとぶつかる点をPとします。このときBP:PAをもっとも簡単な比で表すと

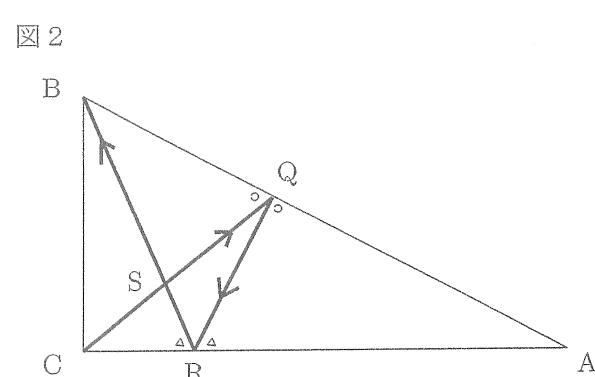
: です。



(2) 図2のように、Cから発射した玉が、辺AB上の点Qではね返り、辺AC上の点Rではね返ってBに到達しました。

このとき、 $BQ = \boxed{}$ cmであり、 $CR:RA$ をもっとも簡単な比

で表すと : です。



また、BRとCQの交点をSとするとき、三角形ABCと三角形QRSの面積の比

をもっとも簡単な比で表すと : です。